

第2章 ■ ■ ■ さまざまな書式 (段落)

STEP 1. 段落について

ワードで出てくる「段落」という言葉は、文字列の先頭から「Enter」キーを押すと出てくる「↵」（段落記号）までのひとかたまりを言います。
下の文書の場合6個の段落があります。

「Enter」キーを押すと出てくる段落記号

段落記号だけの行も一つの段落です。

ラーメン屋↵

↵

あるところに、ラーメン屋さんが、三軒並んでおりまして、一番右の主人が『日本一おいしいラーメン』、という看板を出したんですな。↵

すると、一番左の主人が『世界一おいしいラーメン』、という看板を出しまして。↵

さあ、真ん中の主人が困っちゃって、出した看板が↵

『入り口はこちら』↵

STEP 2. ぶんしょ ようい 文書を用意しましょう

あたら ぶんしょ ひら つぎ ぶんしょ さくせい
新しい文書を開き次のように文書を作成しましょう。

フォントサイズ：14

よはく さま
余白：やや狭い

ある美術館での会話←

マダム「あら～すてきな絵ですこと。ルノワールですわね。」←

係員「いいえ奥様、それはダビンチでございます。」←

マダム「あ～らこちらも素敵、ダビンチですわね。」←

係員「いいえ奥様、それがルノワールでございます。」←

マダム「あら、この絵なら私にもわかるわ。ピカソよね。」←

係員「いいえ奥様、それは鏡でございます。」←

びじゅつかん かいわ
ある美術館での会話

マダム「あら～すてきな絵えですこと。ルノワールですわね。」

かかりいん おくさま
係員「いいえ奥様、それはダビンチでございます。」

マダム「あ～らこちらも素敵すてき、ダビンチですわね。」

かかりいん おくさま
係員「いいえ奥様、それがルノワールでございます。」

マダム「あら、この絵えなら私わたしにもわかるわ。ピカソよね。」

かかりいん おくさま かがみ
係員「いいえ奥様、それは鏡かがみでございます。」

STEP 3. 段落全体をいっばいに広げる (均等割り付け)

一つ目の段落を横いっばいに広げてみましょう。

1. 一つ目の段落を選択しましょう

1 1行目をクリックします。

1行目 (1つ目の段落) ならどこをクリックしてもかまいません。

ある美術館での会話

マダム「あら～すてきな絵ですこと。ルノワールですわね。」

係員「いいえ奥様、それはダビンチでございます。」

マダム「あ～らこちらも素敵、ダビンチですわね。」

係員「いいえ奥様、それがルノワールでございます。」

マダム「あら、この絵なら私にもわかるわ。ピカソよね。」

係員「いいえ奥様、それは鏡でございます。」

2. 「均等割り付け」で横いっばいに広げましょう

1 「均等割り付け」をクリックします。

ある美術館での会話

マダム「あら～すてきな絵ですこと。ルノワールですわね。」

係員「いいえ奥様、それはダビンチでございます。」

マダム「あ～らこちらも素敵、ダビンチですわね。」

係員「いいえ奥様、それがルノワールでございます。」

あ る 美 術 館 で の 会 話

マダム「あら～すてきな絵ですこと。ルノワールですわね。」←

係員「いいえ奥様、それはダビンチでございます。」←

マダム「あ～らこちらも素敵、ダビンチですわね。」←

係員「いいえ奥様、それがルノワールでございます。」←

マダム「あら、この絵なら私にもわかるわ。ピカソよね。」←

係員「いいえ奥様、それは鏡でございます。」←

1つ目の段落が横いっぱいになりました。

練習問題

- 次のように2つ目以降の段落を均等割り付けで横いっぱいに広げましょう。

あ る 美 術 館 で の 会 話

マダム「あら～すてきな絵ですこと。ルノワールですわね。」←

係員「いいえ奥様、それはダビンチでございます。」←

マダム「あ～らこちらも素敵、ダビンチですわね。」←

係員「いいえ奥様、それがルノワールでございます。」←

マダム「あら、この絵なら私にもわかるわ。ピカソよね。」←

係員「いいえ奥様、それは鏡でございます。」←

STEP 4. 均等割り付けを取り消す

1つ目の段落の均等割り付けを解除しましょう

1. 1つ目の段落を選択しましょう

1 1行目をクリックします。

ある美術館

マダム「あら～すてきな絵ですこと。

係員「いいえ奥様、それはダビンチでございます。

マダム「あ～らこちらも素敵、ダビンチですわね。

係員「いいえ奥様、それがルノワールでございます。

マダム「あら、この絵なら私にもわかるわ。ピカソよね。

係員「いいえ奥様、それは鏡でございます。

2. 均等割り付けを取り消しましょう

1 「均等割り付け」をクリックします。

ある美術館での

マダム「あら～すてきな絵ですこと。ルノワール

係員「いいえ奥様、それはダビンチでござ

マダム「あ～らこちらも素敵、ダビンチ

係員「いいえ奥様、それがルノワールでござ

4 2 2 4 6 8 10 12 14 16 18 20 22 24 26 28 30 32 34 36 38 40 42 44

ある美術館での会話

マダム「あら～すてきな絵ですこと。ルノワールですわね。

係員「いいえ奥様、それはダビンチでございます。

マダム「あ～こちらも素敵、ダビンチですわね。

係員「いいえ奥様、それがルノワールでございます。

マダム「あら、この絵なら私にもわかるわ。ピカソよね。

係員「いいえ奥様、それは鏡でございます。

1つ目の段落の均等割り付けが解除されました。

練習問題

- 次のように2つ目以降の段落の均等割り付けを解除しましょう。

ある美術館での会話

マダム「あら～すてきな絵ですこと。ルノワールですわね。」

係員「いいえ奥様、それはダビンチでございます。」

マダム「あ～こちらも素敵、ダビンチですわね。」

係員「いいえ奥様、それがルノワールでございます。」

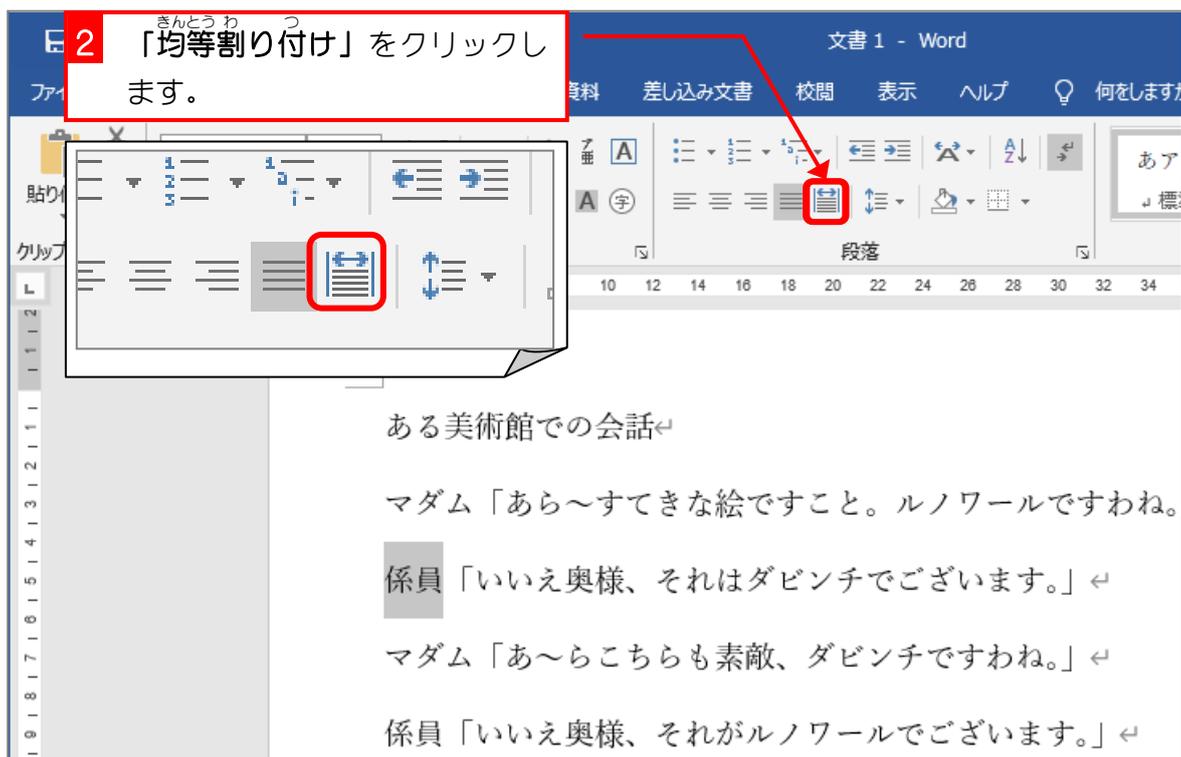
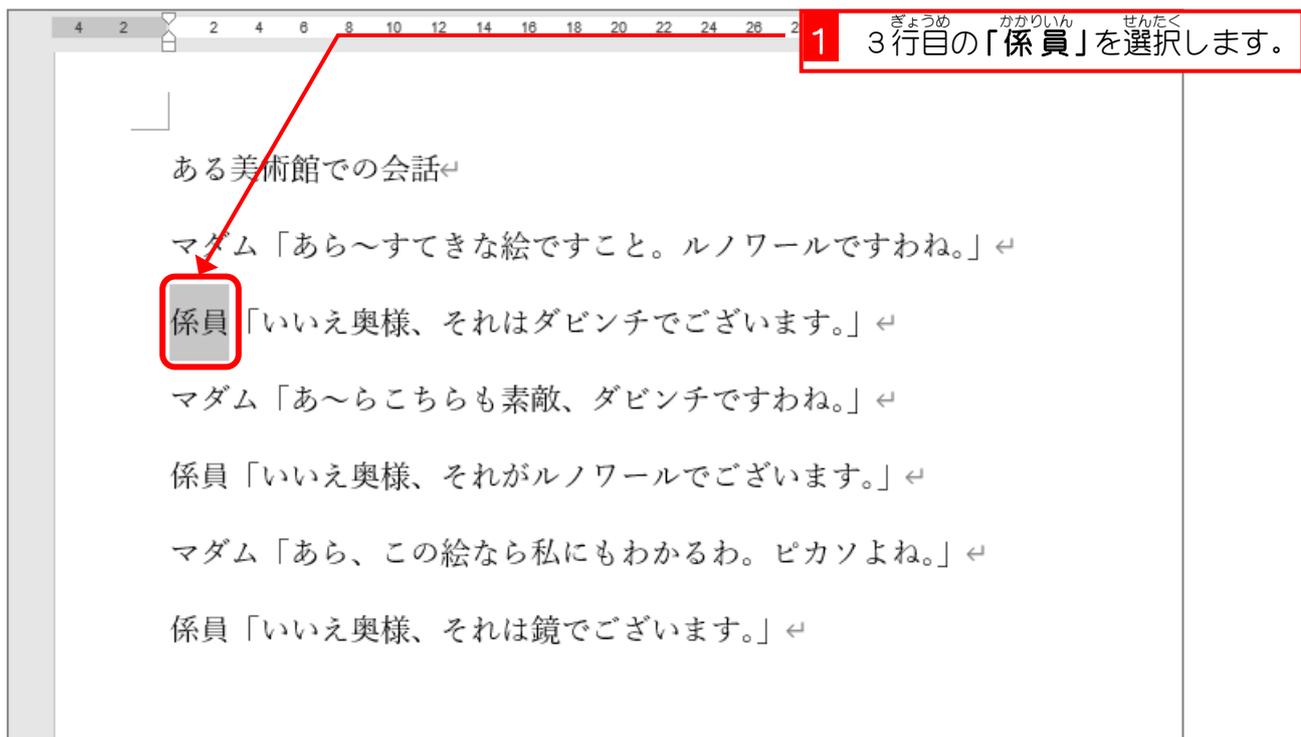
マダム「あら、この絵なら私にもわかるわ。ピカソよね。」

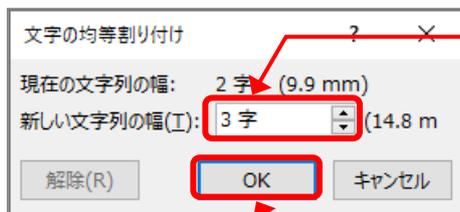
係員「いいえ奥様、それは鏡でございます。」

STEP 5. 文字の間隔を調整する（均等割り付け）

「マダム」の文字数が3文字で「係員」が2文字なので「係員」を3文字分の幅に広げると全体がそろって見やすくなります。「係員」を3文字の幅に広げてみましょう。

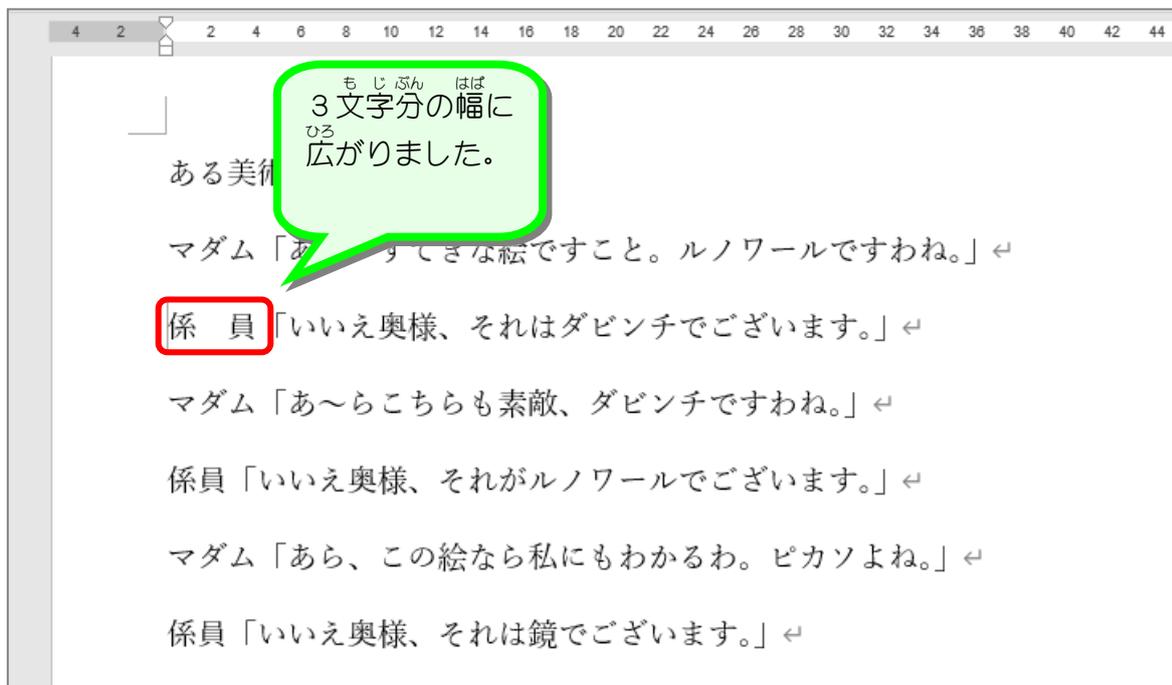
1. 文字の間隔を均等割り付けで調整しましょう





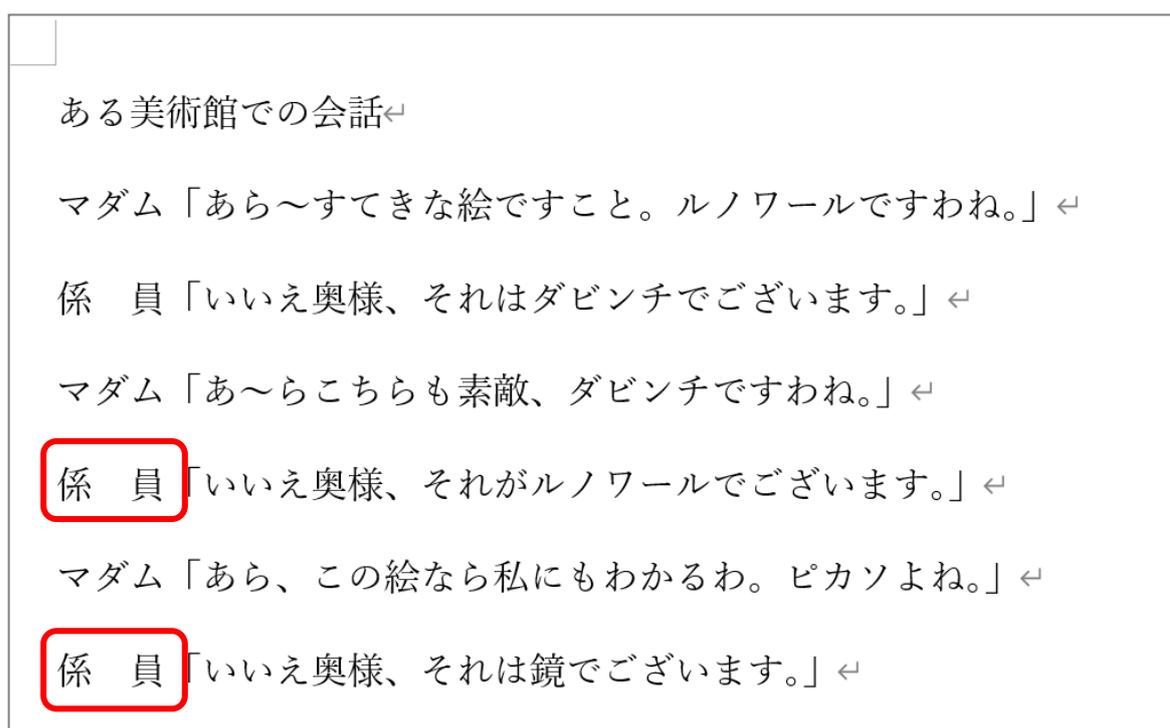
3 「^{あた}新しい^{もじ}文字列^{はば}の幅」を「3字^じ」
に^{へんこう}変更^{へんこう}します。

4 「OK」をクリックします。



練習問題

- 次のように「^{かりいん}係員」の文字を3文字の幅で「均等割り付け」をしましょう。



STEP 6. 先頭に記号を付ける (箇条書き)

箇条書きで文書を書くときに先頭に記号を付けるとわかりやすくなります。「マダム」と「係員」の会話を箇条書きにしてみましよう。

1. 先頭に記号を付けましよう

ある美術館での会話

マダム「あら～すてきな絵ですこと。ルノワールですわね。」

係員「いいえ奥様、それはダビンチでございます。」

マダム「あ～らこちらも素敵、ダビンチですわね。」

係員「いいえ奥様、それがルノワールでございます。」

マダム「あら、この絵なら私にもわかるわ。ピ

係員「いいえ奥様、それは鏡でございます。」

1 2行目・3行目の会話の部分を選択します。

2行目・3行目をすべて選択する必要はありません。その行の一部だけでも選択されていればいいです。

2 「箇条書き」をクリックします。

ある美術館での会話

マダム「あら～すてきな絵ですこと。ルノワールですわね。」

係員「いいえ奥様、それはダビンチでございます。」

マダム「あ～らこちらも素敵、ダビンチですわね。」

係員「いいえ奥様、それがルノワールでございます。」

せんとう きごう つい
先頭に記号が追
か
加されました。

あ

- マダム「あら～すてきな絵ですこと。ルノワールですわね。」←
- 係 員「いいえ奥様、それはダビンチでございます。」←

マダム「あ～らこちらも素敵、ダビンチですわね。」←

係 員「いいえ奥様、それがルノワールでございます。」←

マダム「あら、この絵なら私にもわかるわ。ピカソよね。」←

係 員「いいえ奥様、それは鏡でございます。」←

テキストと違う記号が現れるか
もしれませんが、そのまま構い
ません。

練習問題

- つぎ のように残りの「マダム」と「係員」の会話を簡条書きにしましょう。

ある美術館での会話←

- マダム「あら～すてきな絵ですこと。ルノワールですわね。」←
- 係 員「いいえ奥様、それはダビンチでございます。」←
- マダム「あ～らこちらも素敵、ダビンチですわね。」←
- 係 員「いいえ奥様、それがルノワールでございます。」←
- マダム「あら、この絵なら私にもわかるわ。ピカソよね。」←
- 係 員「いいえ奥様、それは鏡でございませ

テキストと違う記号が現れるか
もしれませんが、そのまま構い
ません。